

泊発電所の保守管理の仕組みに関する確認結果【概要】

平成22年4月30日に中国電力(株)が原子力安全・保安院へ提出した報告書における原因分析によると、点検計画表の策定段階の問題、点検の実施段階における問題、点検実績の反映段階の問題があり、点検計画表を中心とした保守管理の仕組みが十分機能していないとされている。

これらの点について、当社における保守管理の仕組みを確認したところ、同様の問題は認められなかった。

	中国電力(株)の問題点	当社の確認状況
点検計画表の策定段階	<ul style="list-style-type: none"> ・定期事業者検査制度導入に伴い新たに点検計画表を策定したが、過去の点検実績を十分踏まえず点検頻度等を設定した。 ・点検計画表上の記載を一部誤った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期事業者検査制度導入に伴う点検計画表の整備にあたっては、過去の点検実績データが記載されている既存の資料を活用して進めた。 ・既存資料を活用したことによって、新たに策定する場合と比較して、データの転記量が低減され誤記の防止に効果的であった。
点検の実施段階	<ul style="list-style-type: none"> ・点検計画表以外の文書も使用して工事発注を行っていたことから、工事仕様書に適切な点検情報が取り込まれなかった。 ・点検に必要な資材の手配が出来ず、計画通りに点検等が出来なかった場合にも不適合処置等の適切な対応が行われていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検計画表に基づき工事仕様書を作成しているため、点検計画表で計画されている点検内容が取り込まれる仕組みとなっている。 ・計画通りの点検が出来ない場合には、技術的評価、点検計画表の変更を行うとともに、不適合処置等の対応を行う仕組みとなっている。
点検実績の反映段階	<ul style="list-style-type: none"> ・点検計画表の管理部署と点検実施部署が別組織となっていた。 ・点検実施部署から、点検未実施の連絡が無ければ管理部署は「点検実績あり」と判断し、点検計画表の更新を行っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検計画表の管理部署と点検実施部署は同一組織とする体制をとっている。 ・点検実績の点検計画表への反映は、工事の実施状況が確実に反映された工事報告書に基づき実施する仕組みとしている。